**2022年10月28日**

**全国商工会連合会**

小規模企業景気動向調査　［２０２２年９月期調査］

～コロナ第７波の収束で売上増加も、低採算から脱却できずにいる小規模企業景況～

**小規模企業景気動向調査**　［２０２２年７月期調査］

**～****感染急拡大による需要低迷、コスト増の影響による採算・資金繰りに苦しむ小規模企業景況～**

**＜産業全体＞　コロナ第７波収束で売上増加も、低採算から脱却できずにいる小規模企業景況**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| D I | ８月 | ９月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 11.0 | ▲ 4.0 | 7.0 |
| 採算 | ▲ 47.9 | ▲ 46.0 | 1.9 |
| 資金繰り | ▲ 37.1 | ▲ 34.9 | 2..2 |
| 業況 | ▲ 34.6 | ▲ 30.5 | 4.1 |

**９月期の産業全体の業況は、コロナ第７波の収束により売上額DIが大幅に改善し、採算・資金繰り・業況DIが小幅な改善となった。全業種で売上額DIの改善がみられるものの、採算DIは低水準で推移し続けている。急激な円安によるコスト高に対し、価格転嫁が追いついていない、とのコメントもある。行動規制の緩和が続き、好転の兆しが見えつつも、未だ厳しい経営環境・経営状況が続いている。**

**＜製造業＞　売上好調も、急激に進む円安で収支のバランスが崩れ、資金繰り計画に苦しむ製造業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| D I | ８月 | ９月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 8.2 | ▲ 3.7 | 4.5 |
| 採算 | ▲ 55.4 | ▲ 55.6 | ▲0.2 |
| 資金繰り | ▲ 43.2 | ▲ 46.0 | ▲2.8 |
| 業況 | ▲ 40.7 | ▲ 37.5 | 3.2 |

製造業は、売上額・業況DIが小幅に改善、採算DIがわずかに悪化、資金繰りDIが小幅に悪化した。食料品関連は、３期連続で売上額DI が改善、１０月の値上げに向けて駆け込み需要があった、とのコメントが目立つ。繊維関連は、冬物衣料の需要増加及び価格転嫁が進んだことで全DIが改善した。機械・金属関連は、半導体事業が全体を牽引。その一方で、急激に進む円安等の影響で、資金繰りDIがここ１年で最大の悪化を示した。

**＜建設業＞　災害復旧需要により全DI大幅改善も、材料費の高騰や人手不足から不安が残る建設業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| D I | ８月 | ９月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 8.2 |  0.7 | 8.9 |
| 採算 | ▲ 56.4 | ▲ 48.1 | 8.3 |
| 資金繰り | ▲ 43.1 | ▲ 34.4 | 8.7 |
| 業況 | ▲ 35.6 | ▲ 28.3 | 7.3 |

建設業は、全DIが２期連続で改善。他業種と比較して、唯一の大幅改善となった。好調が続く官公需・民間工事や、８月に発生した大雨による災害復旧に加え、新たに９月の台風被害の復旧需要が追い風となった。また、以前よりも原材料の納品が早くなったため、工期遅延が改善されている、とのコメントがあった。一方で、前月同様、原材料・燃料費の高騰や人手不足が続いており、安定しない、などのコメントがみられた。

**＜小売業＞　コロナ第７波の収束で売上増も、採算性悪化に歯止めのかからない小売業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| D I | ８月 | ９月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲ 19.7 | ▲ 10.7 | 9.0 |
| 採算 | ▲ 49.9 | ▲ 50.6 | ▲0.7 |
| 資金繰り | ▲ 38.9 | ▲ 37.7 | 1.2 |
| 業況 | ▲ 42.4 | ▲38.8  | 3.6 |

小売業は、売上額DIが大幅に改善、資金繰り・業況DIが小幅に改善する一方で、採算DIがわずかに悪化した。食料品関連は売上額DIが大幅に改善する一方で、採算DIに関しては４期連続の悪化。買い控えを恐れて価格転嫁に踏み切れない、という声が多くみられた。衣料品関連は、売上額DIが大幅改善。コロナ第７波の収束と、秋冬物の需要増から客足が戻り始めた、とのコメントがあった。耐久消費財関連は、売上額DIが大幅に改善。車の需要はあるが、新車生産が追いつかず、中古車価格が高騰し続けている、というコメントが目立つ。

**＜サービス業＞　行動制限緩和で売上増加も、原材料高等で低水準が続くサービス業**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| D I | ８月 | ９月 | 前月比 |
| 売上額 | ▲8.1 | ▲ 2.3 | 5,8 |
| 採算 | ▲ 30.0 | ▲ 29.9 | 0.1 |
| 資金繰り | ▲ 23.0 | ▲ 21.6 | 1.4 |
| 業況 | ▲ 19.4 | ▲ 17.4 | 2.0 |

サービス業は、売上額DIが大幅に改善、採算DIがわずかに改善、資金繰り・業況DIが小幅に改善した。旅館関連は、前月から引き続き売上・業況DIが大幅改善となり、行動制限緩和による旅行客増加が顕著にみられた。クリーニング関連は、全DIで改善傾向がみられたものの、依然として原油・原材料高の影響を最も受けており採算性が悪い。理・美容は、売上額DIが小幅に改善し、安定してきている。その一方で採算DIが大幅に悪化した。水道光熱費等の経費上昇で利益を圧迫している、とのコメントがあった。

**調 査 概 要**

・調査対象：全国約300商工会の経営指導員

・調査時点：2022年９月末

・調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

※ DI（景気動向指数）は各調査項目について、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた値を示す。

産業政策部　産業政策課　担当：元木、宮川　〒100-0006千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F　TEL：03-6268-0085 MAIL：sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp sangyo@shokokai.or.jp